



連携事例31

R5.8 更新

食べて応援！SDGs 一口やきいも

～食品ロス削減 規格外野菜が美味しく変身！～



規格外野菜 さつまいもを商品化しました。

■協働パートナーの種別



■事業運営団体

- ・事業運営団体名 (株)シブヤ

■協働パートナー

- ・かとり農業協同組合
- ・合同会社キュービックプランニング

■事業費 10万円

■資金調達手段 運営団体負担

事業概要

農家さんが作る規格外さつまいもを、美味しく食べられるひとつち焼き芋に加工し、販売を行っています。売上の一部を子ども食堂、児童福祉施設に寄付を行い、循環させています。写真は、販売商品です。子供達が食べる笑顔の写真も添付致します。農家さんは廃棄の負担が掛からず、子供たちも喜んで食べてくれるので、規格外さつまいもが再生した形の取り組みになります。

協働までの経緯

現在、弊社がお取引しているかとり農協様にお米を卸している木内さんから、農家さんが費用を出して廃棄しているという規格外さつまいものお話を聞き、何か出来ないかと訪問し、かとり農協ご担当者様と協議を重ね、市場の価格を損ねることなく、地域に還元できる商品化をし、提供することで食品ロス削減に加え、子供達への支援につながる取り組みが実現しました。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①かとり農協さまと面談 2023年～
- ②かとり農協 さつまいも選果場に週1回毎週金曜日にさつまいもを引き取り行く 2023年
- ③商品開発 2023年
- ④商品販売、子ども食堂への提供がスタート 2023年

主な協働パートナーとの役割分担

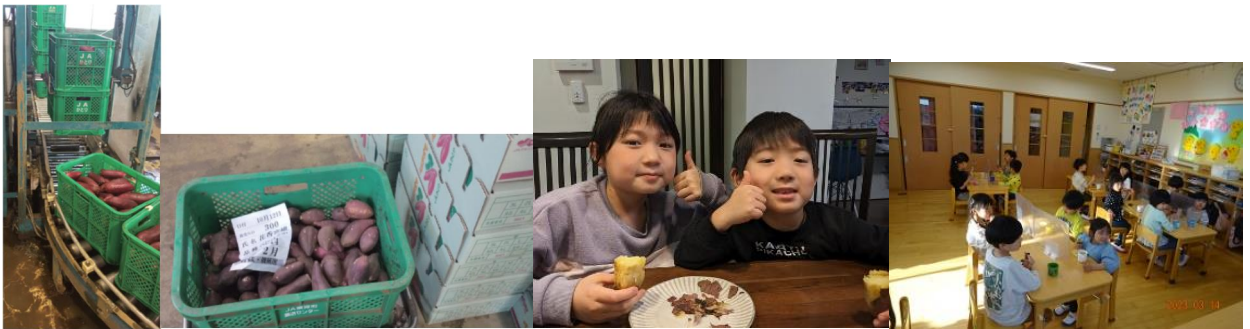
- 【かとり農業協同組合】 規格外さつまいも提供
- 【合同会社キュービックプランニング】 商品製造
- 【株式会社シブヤ】 企画、販売、寄付

協働事業によって生まれた成果

- ・かとり農業協同組合の組合員である農家さんがこれまで廃棄していたさつまいもの費用負担が無くなりました。
- ・かとり農業協同組合さま×合同会社キュービックプランニング×㈱シブヤは、SDGsの目標の内、食品ロス削減の取り組みを行えるようになりました。
- ・当たり前のように廃棄されていた商品に価値が生まれ、新たな価値が生まれ、さらには、児童福祉施設や子ども食堂への寄付も行え、循環型の地域再生に寄与することができました。
- ・1社では考え付かなかったことが、連携を行うことにより、新しい価値を生み出すことが出来ました。

今後力を入れていきたいこと

- 様々な食品が廃棄されている現状を目にし、特に、規格外でも食べられるもったいない野菜が多いので、本商品と同じように新しい価値を生み出し、社会に提供していきたい。
- たくさんの子供達が笑顔になる商品を作り、お届けしていきたい。また、子ども食堂や児童福祉施設への寄付も継続していきたい。



コラボのコツ!!

★コツ1

困っていることを聞く。

★コツ2

社会的問題を考える

★コツ3

三方良し。笑顔になれることを考える

コツに関するコメント

- ・困っていることがわかれば、解決するために一緒になって考えることが出来る。
- ・社会的問題になっていることがないか、SDGsの観点で考え、解決策を模索する。
- ・誰もが笑顔になれるようにするには、どうしたら良いか、みんなに声を掛けて、取り組む。

協働事例プロフィール

【活動開始年】2023年

【活動のPR手法】フードロス催事での販売、X(旧Twitter) https://twitter.com/foodloss_yumeya

【この事業で活用した補助金】 特になし 【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 特になし

【問い合わせ先】 担当者：㈱シブヤ 澁谷梨絵

電話番号：047-341-1211 メールアドレス：rie@shibuya-foods.com